



錦城高校新聞
題字 井口 文章
再刊 第462号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2024

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面..今年の錦城祭も無事終了!
大盛況の2日間を振り返る
二面..復活から2年目の夜後祭
あの熱狂をもつ一度!

咲き誇った錦城生の花
2024 錦城祭開催



息の合ったパフォーマンスを見せた

9月14日(土)から15日(日)の2日間にわたって開催された錦城祭。今号では、編集委員が見てきた各団体の企画の様子をお届けする。(編集部共同取材)
匠のダンスを披露
ダンス部のステージ「ハナシズクノウタ」で行われた全13演目のうち最初の演目「万華」では、赤色のライトに照らされ、緩急のある情熱的な踊りを披露した。その後もキラのあるブレイクダンスの...

「来年ももっとワクワクさせたい」
実行委員長が見た今年の錦城祭



「皆の楽しむ姿が見られて嬉しかったです」

オープニングセレモニー、そこでの全校ダンスなど、初の試みが導入された今年の錦城祭。錦城祭実行委員長の中村剛月さん(2日)は、「新しいことを実施し大変でもありましたが、その分楽しくもありました」と感想を語る。
観客席が大きく盛り上がったオープニングセレモニーで、中村さんは、新企画に目を向けた分本部をまとめるのが大変だったと苦労を振り返る。企画紹介で行う内容を振り分けるのが大変だったほか、全校企画のダンスはできるかどうか不安と焦りは尽きなかったそう。
しかし、セレモニー後に多くの人がこれらの企画が良かったと言ってくれて、本部の...



恐怖を煽る外装

突然人の顔が出てくる仕掛けから、足を引張って、こよととする死者もおり、迫力のあるお化け屋敷だった。
3Aの企画は「太田医院」。病院が舞台のお化け屋敷だ。懐中電灯の光を頼りに、死者の潜む真つ暗な病院を自分の足で進んでいく。順番待ちの列に並んでいる時に教室の中から悲鳴が聞こえてきて、そんなに怖いかという不安と、どれほどの仕掛けがあるのだろうという好奇心で胸が高鳴る。外装には怪しげなお札や血の跡が、内装は手術室のプレートや病院のベッドがあり、本格的な仕上がりだった。



店内では罵詈雑言が響く!?

インパクト大の飲食店
1Fは、話題を呼んだ「日本一接客態度の悪い店」として知られる「Lazy House」を、錦城バージョンで開催した。ドアの向こうはもう別世界。入った途端、空いているテーブルにつくように鋭い言葉が飛んだ。メニューがテーブルに投げ置かれ、メニューの内容も「おまえの心に穴をあけてやるよセット」「おまえの恋は叶わねーよセット」などなかなか挑発的な内容となっ...

始まりを飾った期待高まるセレモニー

今年、錦城祭で初めてのオープニングセレモニーが行われた。各企画の紹介映像や学校全体のダンス企画の映像が放送され、会場は大きく盛り上がった。
錦城祭本部企画チーフの外山夏莉季さん(21)は「疲れました。しかしオープニングセレモニーが予想以上の盛り上がりを見せて嬉しかったです」と、今回の企画を振り返った。友人からも「思ったより色々あって良かった」という反応をもらえたそう。初の試みが成功したことで、外山さんは「次回の錦城祭にも続けていきたい」と意気込みをみせた。しかし、外山さんはオープニングセレモニーの点呼で時間がかかり、時間が押してしまった、スタンプラリーの景品が思ったより余ってしまった、という二つの改善点も上げた。点呼の確認をしっかりと、もっと錦城生にスタンプラリーの呼びかけをすればより良い錦城祭になったと思いますと語った。そして、錦城生に向けて「このオープニングセレモニーが錦城生の『おお』のすまか』になっていれば幸いです」とメッセージを送った。(英)



個性豊かな企画が盛りだくさん

多感と感したという。錦城生に向けて、オープニングセレモニーへの協力を改めて感謝し「来年ももっと面白く、みんなをワクワクさせるようなことをしていきたい」と中村さんは語る。来年の実行委員に向けて、「もっと早くから動いてクラス企画のクオリティを上げることで、本部だけでなく、周りも活性化させられることをしてくれたいと思います」とメッセージを送った。(普)

ゲームミッションに臨む
2Jの企画は、「モンスターズ・インク!!」。最近子供が驚いている。「おまえの恋は叶わねーよセット」を頼んでいた隣のテーブルではサブされる際、セット内容の源氏パイを拳で粉々に砕かれていた。まさに大元リスベクトというべきクオリティだった。

かぞ困っているマイクたちをお手伝いするため、モンスターズ・インクというミッションクリアを目指すアトラクションだ。モンスターズ・インクの世界観に合ったにぎやかでかわいらしい内装で、射的、もぐらたたき、宝探しの3種類のミニゲームを楽しめる。すべてミッションを完了すると社員証をもらうことができる。友達と競って遊んでも楽しいゲームだった。

野菜で地元を活性化
錦城祭の2日間の間、食堂前でびくずによる小平産野菜の販売が行われた。「小平市を野菜で活性化しよう」をコンセプトに、1・2

4月から活動を行ってきた今年を含めた新体制で今年も1時間半の販売時間で完売。2日間で計900個以上が売切れたそう。あんこもミルクリュームの2種類からミルクリューム味をいただく方も、もちり甘い生地に重すぎず濃厚なミルクリュームが中身いっぱいに入っている舌触りにうっとり。お昼ご飯と安」では販売10分前から長蛇の列ができており、その人気ぶりがうかがえた。両日とも1時間半の販売時間で完売。2日間で計900個以上が売切れたそう。あんこもミルクリュームの2種類からミルクリューム味をいただく方も、もちり甘い生地に重すぎず濃厚なミルクリュームが中身いっぱいに入っている舌触りにうっとり。お昼ご飯と

移動販売も大人気!
小平市のお店の商品を錦城祭で売る移動販売は、2日間を通して大盛況だった。「鯛」と意気込んだ。
「錦城添花」をスローガンに、盛大な盛り上がりを見せた錦城祭。準備や運営を通して仲が深まったクラスや部活も多いだろう。今回培ったチームワークを、今後の学校生活にも生かしていこう。

むらさき草

夏休みに家族旅行で北海道に行った。札幌、美瑛などを訪れ綺麗な景色と美味しい食事を堪能した。「青い池」や産地直送牛乳のジェラートなど、どれも北海道にしかない素敵なお土産だ。思い出になった。しかし、旅行中ふと思ったことがある。「空港までの道中が一番楽しかった。ただ、旅行前日に荷物をいそいそと詰める作業、当日早起きしてバスに乗り、電車を乗り継ぎ、羽田空港が近くにつれ周りに見えるビルが増え、羽田から仙台まで飛行機に乗る。この瞬間が、一番楽しかった。買った物や荷物の何が出るかわからないランダム要素をこよなく愛している。私の中では、「期待すること」がかなり重要な喜怒哀楽の「楽」の部分だということに気づいた。先日の錦城祭でも、錦城コレクションに推しの先生が出なかったことに少しガッカリしたが、「予想するのが楽しかったからOK!」だって私は期待するのが楽しい人だから」という風に切り替えることができた。楽が私をポジティブにしてくれる。みんなの「楽」は何だろうか?自分の「楽」が、これから大変になる人生をちよっと助けられると思う。ぜひ探してみよう。(英)

「後輩が頑張っている姿に元気をもらいました」

錦城OGに突撃インタビュー!!

今年も多くのお客でにぎわった錦城祭。生徒からは「超青春した」「友達との仲が深まった」など多くの感想が聞かれたが、一般のお客さんの声はどうなのだろうか?今回、53回生OGであるY.TさんとK.Hさんに取材をし、錦城祭の感想や印象的な企画を聞くことができた。
錦城生時代は吹奏楽部に入っていたという二人。実は、今もドリルステージにて着用されているガードの衣装を作ったのが、53回生だったそう。二人は、今年の吹奏楽部のステージ「KBBドリルステージ」の感想を「年下の子たちが頑張っている姿を見て、元気をもらいました」と話す。また、Y.Tさんは、ガードの旗の振り方が印象的だったそうで、旗をピシッと止まらせる技が多かった自分たちの代に比べて、今は旗をずっとクルクル回す技が多くて驚いたと語る。



卒業生も注目のび〜ず「錦茶」



今年カラオケ企画もあった

心に残った企画について聞くと、K.Hさんは1年H組の「メイドカフェ REVERSAL」をあげてくれた。慣れない接客にも一生懸命に取り組み、「萌え萌えキューン」の掛け声をする店員の姿が可愛らしかったと話す。最後に、錦城OGの二人に、現役錦城生に向けてのメッセージを貰った。カラオケや水鉄砲など、自分たちの高校時代では考えられない新しい企画に驚いたというY.Tさんは「これからは、新しい企画を錦城に取り入れていってくれと嬉しいです」とコメント。また、毎日同じ人と顔を合わせるの実は高校までです、と教えてくれたK.Hさんは「今しかできないことがいっぱいあるので、日々を大切にしてください」と錦城生に言葉を送った。(普)

